

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年7月28日

【評価実施概要】

事業所番号	3870105727		
法人名	株式会社 セラピー		
事業所名	グループホーム しらゆり		
所在地	松山市鷹子町154番地1 (電話) 089-970-7477		
管理者	日山 明美		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年7月2日	評価確定日	平成20年7月28日

【情報提供票より】 (平成20年6月1日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成18年3月15日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	16人	常勤	13人, 非常勤 3人, 常勤換算 14.5人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	39,000円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,100円		
(3)利用者の概要 (平成20年6月1日現在)			
利用者人数	18名	男性 9名	女性 9名
要介護1	7名	要介護2	2名
要介護3	5名	要介護4	1名
要介護5	0名	要支援2	3名
年齢	平均 79歳	最低 56歳	最高 101歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・なし	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・なし	短期利用共同生活介護		
加算 あり・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ご本人、ご家族に見学に来ていただき、納得いただいて入居できるようすすめておられる。事業所の畑が特に気に入られて、入居に至ったようなこともあった。早起きされ、畑の様子を見に行かれたり掃除をしてくださる方もいる。事業所では、月に1回外出する機会を設けておられる。動物園や砥部焼の給付け等、職員がアイデアを出し、利用者に希望を聞くようにされている。協力医療機関と連携して取り組まれている。又、ご本人の体調等について、ご家族と医師が話す機会も作られている。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
・成年後見制度についての理解を深められたり、食事は、職員も利用者と一緒に食べることでされた。さらに、運営推進会議時には、サービス評価ガイドブック等を参考に、評価項目について数回に分けて出席者に説明をされている。
今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
・前回の評価結果についてミーティングで話し合い、その内容に基づき、法人代表者と管理者が今回の自己評価をまとめられた。
運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
・2か月に1度、会議を開催し、事業所の活動報告を行い、町内会の方から地域行事のこと等について教えていただいている。民生委員の方から車いすの介助の仕方を教えて欲しいというような要望も出されている。
家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
・ご家族の来訪時や、遠方におられるご家族には電話等で生活の様子や健康状態を伝え、要望をお聞きしている。
日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
・隣接の畑で、近所の方達が野菜作りを手伝って下さり、利用者と顔見知りになり、一緒に山菜狩り等に出かけることもある。

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム しらゆり

(ユニット名) ユニット A

記入者(管理者)

氏名 日山 明美

評価完了日

平成20年6月15日

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			開設時に作った理念を現在も継続している。		
			(外部評価)		
			事業所の理念の一つに「地域社会との交流」を掲げ、利用者が地域の方達とかわりながら暮らすことを目指しておられる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			職員の採用時に、理念を伝え、理解してもらうようにしている。また、ミーティングの時に、理念に触れるようにしている。		
			(外部評価)		
			共用空間に理念を掲げ、ミーティング時には、法人代表者が職員に理念を具体的に話されている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			ご家族には、入居前及び、入居時に説明している。ホーム見学の場面で、ホーム内に啓示した理念を、わかりやすく説明している。		
					運営推進会議では説明しているが、地域のイベント等に参加し、事業所の実践を伝えるようにしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) ホームの庭や、散歩道など、近隣の人達と挨拶や話しをし、日常的なつきあいが出来るよう努めている。畑の作物の差入れに来られる方もいます。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地方祭の時に、町内会にお願いし、御輿・獅子舞に来て頂き、利用者と一緒に楽しんだ。夏祭り(盆踊り)に利用者とともに参加させていただき、楽しんだ。 (外部評価) 隣接の畑で、近所の方達が野菜作りを手伝って下さり、利用者と顔見知りになり、一緒に山菜狩り等に出かけることもある。		地域の一員として、町内の行事に参加し、地元の人々と交流することに努めていきたい。  地域の方達にさらに、事業所の取り組みを理解し、協力いただけるよう交流の機会を増やしていかれることが期待される。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 民生委員から、ボランティアに参加したいので、車椅子の操作等について、教えて欲しいとの要望があり、20年7月25日講習する予定。		地域の高齢者等の暮らしに役立つ事が無いか話し合い、具体的に取り組んでいきたい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 前回の自己評価・外部評価の結果を踏まえ、ミーティングで報告し、改善に向けて検討し、サービスの質の向上に努めている。 (外部評価) 前回の評価結果についてミーティングで話し合い、その内容に基づき、法人代表者と管理者が今回の自己評価をまとめられた。事業所では、成年後見制度についての理解を深められたり、食事は、職員も利用者と一緒に食べることでされた。さらに、運営推進会議時には、サービス評価ガイドブック等を参考に、評価項目について数回に分けて出席者に説明をされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、意見を頂いたり、 町内の行事予定等情報を頂き、サービスの向上に活か している。		
			(外部評価)		
			2か月に1度、会議を開催し、事業所の活動報告を行 い、町内会の方から地域行事のこと等について教えて いただいている。民生委員の方から車いすの介助の仕 方を教えて欲しいというような要望も出されている。		会議を貴事業所のサービスの質の向上につなげられる ような取り組みが期待される。利用者にかかわるいろ いろな方に出席いただけるよう働きかけられたり、会 議のすめ方等についても工夫を重ねていかれること が期待される。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			運営上、問題が生じた場合、その都度市の担当者に相 談し、快く相談に応じていただき、課題解決を図って います。		
			(外部評価)		
			市の職員研修を受け入れる予定となっている。又、生 活福祉課の方も2か月に1度は来訪される。		事業所は生活保護受給者の方が多く入居されているこ とからも、今後も、さらに市との連携を図り、取り組 まれることが期待される。
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			成年後見制度、地域福祉擁護事業についてミーティ ングで説明し、成年後見制度については、パンフレット を常備し、全職員が必要な時に活用できるよう、支援 している。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			ミーティング等において、高齢者虐待防止法に関する 理解浸透や、遵守に向けた取り組みを行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約を結んだり解約する際、内容を十分説明し理解、納得を図っている。 契約後1部お渡しし、再度不明な点がある場合は連絡頂き再度説明し、理解、納得頂いている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者の意見等については、利用者中心の観点から重要視し、早急に解消し、運営に反映させている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らし方や健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 利用者の暮らし方や、健康状態については、家族訪問時に説明させて頂くか、訪問が無い場合は手紙で状況をお知らせしています。 金銭管理を任されている利用者については、毎月10日頃に出納帳と領収書を郵送しています。		
			(外部評価) ご家族の来訪時や、遠方におられるご家族には電話等で生活の様子や健康状態を伝えておられる。		事業所では、連絡が途絶えがちになっている方も含めて、全ご家族に連絡を取ってみることを検討されている。ご家族の方達に事業所の取り組みを見ていただいたり、理解を深めていただけるよう、工夫を重ねていかれることが期待される。さらに、安心して事業所に任せておられるご家族もあるのではないだろうか。ご家族の心情やご事情も踏まえながら、報告の方法を工夫してみられてほしい。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 重要事項説明書の中に受付窓口を明記しており、入居時に説明している。 ホーム玄関ホールに重要事項説明書を掲示し、意見箱を設置している。		
			(外部評価) ご家族の来訪時や電話で要望をお聞きしている。		



## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)  ミーティングの時や日々の生活の中で、職員の意見や提案を聞くようにしている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価)  利用者の自由な暮らしを出来る限り支えられるよう、起床時や就寝時、入浴時等、利用者の状態やペースに合わせたローテーションを組んでいる。 また、その都度必要に応じて、柔軟に職員の配置を考えている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価)  馴染みの職員が対応することが重要と考えており、移動や離職を必要最小限に抑える努力をしている。代わる場合は、利用者に説明・紹介するようにしている。		
			(外部評価)  新しい職員が入る際には、利用者で紹介されている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)  研修の情報を提供し、事業所以外で開催される研修には、参加費会社負担でなるべく多くの職員が受講できるように、シフトの調整を行い、研修報告は、毎月のミーティングで発表するようにしている。		
			(外部評価)  職員が集まるミーティング時には勉強会が行われている。職員は、外部の職員研修に参加され「個別の支援」の大切さを感じておられた。		さらに事業所では、介護の資格取得に向けても積極的にすすめておられる。毎月行われる勉強会の内容の充実等、職員個々のレベルアップができるような取り組みが期待される。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)			
			愛媛県グループホーム連絡協議会で、相互研修が、20年9月に実施される予定に参加いたします。			他のグループホームと交流する機会を持ち、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていきたい。
			(外部評価)			
			外部研修時には他事業所とともに学ばれている。		今後の相互評価への取り組みをきっかけに、さらにネットワークを拡げていかれることが期待される。	
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)			
			日常、職員のストレスや悩みを把握するように努めている。食事会の実施による気分転換を図れる機会を作っている。			
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)			
			運営者は日常ホームに来ており、利用者や職員と過ごし、職員の業務や悩みを把握している。また、職員が向上心を持って働けるよう職務評価を行っている。			
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>						
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)			
			本人から、困っている事、不安な事、求めている事等を受け止め、不安を取り除く努力を充分行う事により、信頼関係を築くよう努めている。			



自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)  ご家族が求めている事を理解し、事務所としてはどのような対応が出来るか、事前に話し合いをしている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)  相談時、本人やご家族の思い、状況等を確認し、必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価)  できるだけ本人や家族に事業所を見学して頂く事により、雰囲気を見てもらい、事業所での生活に安心感を持って貰えるようにしている。病院等から、すぐにご利用となった場合は、家族等に来て頂くなどして、安心感を持っていただくようにしている。  (外部評価)  ご本人、ご家族に見学に来ていただき、納得いただいて入居できるようすすめておられる。事業所の畑が特に気に入られて、入居に至ったようなこともあった。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価)  支援する側、支援される側という意識を持たず、できるだけお互いが協働しながら、和やかな生活ができるように場面作りや声かけをしている。  (外部評価)  職員は、利用者からお若いころの体験談を聞いたり、時に子育ての相談に乗ってもらうこともある。		また、利用者同士で「助けたり助けられたり」できるような場面を増やされてはどうだろうか。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 職員は家族の思いに寄り添いながら日々の暮らしの出来事や気づきの情報の共用に努め、本人と一緒に支える為に家族と同じ思いで支援している事を伝えている。また、家族にはできるだけご来訪頂くようお願いしている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 来訪時に本人の日頃の状態を報告、相談等をすると共に、ご本人とご家族の潤滑油になるよう心がける。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 知人、友人等に会いに行ったり、訪問してもらう等、繋がりを継続できる支援をしている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士の関係性について情報連携し、全ての職員が共有できるようにしている。また、心身の状態や気分、感情で日々、変化する事もあるので、注意深く見守るようにしている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) サービスの利用が終了しても、自宅に会いに行ったりして関係を大切にしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			日々のかかわりの中で、声かけ・把握に努めている。困難な場合は、家族等から情報を得るようにしている。又、入浴介助等をする場合、本人納得の上で行うようにしている。		
			(外部評価)		
			職員が利用者と日々かかわる中で利用者の意向を汲み取り、行事ごと等の提案をし、意見を聞くようにされている。		利用者個々の思いや意向を探るための工夫を重ねていられることが期待される。日々かかわる中で得た情報を蓄積し、介護計画等、ケアにつなげていけるような取り組みが期待される。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			入居時に、本人、家族から情報収集や、生活の中で得た情報から、その人らしい生活ができるように支えている。ただし、情報が少なく、最近の事しか解っていない。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			利用者一人ひとりの生活リズムをバイタルチェック等で把握し、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			ご本人や家族の思いや意見を聞き、スタッフ全員で、意見交換やモニタリング、カンファレンスを行い、介護計画の作成を行っている。		スタッフ全員で、意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っていく。
			(外部評価)		
			利用者と日々かかわる中での職員の気付き等を取り入れ介護計画を作成しておられる。		ご本人の思いや意向、ご家族のご意見や願い等も採り入れ、利用者主体の計画を作成していただけることが期待される。又、計画に基づき、ケアを行えるような仕組み作りも検討されてみてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			1ヶ月毎に評価を行い、3ヶ月毎に見直しをしている。状態に変化が生じた場合には、家族に説明し、新たな計画を作成している。		
			(外部評価)		
			3ヶ月毎の定期的な見直しと退院時等、状態変化時には随時見直しをされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			利用者の日々の様子やケアに、実践・結果・気づきや工夫を介護記録に記入し、職員間で情報を共有している。また、結果を基に介護計画の見直し、評価を実施している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			本人・家族の状況に応じて、通院の送迎など、必要な支援については柔軟に対応している。定期的に訪問理美容を利用している。		
			(外部評価)		
			利用者の要望に応じて買い物等にも同行されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 利用者が安心して地域での暮らしを続けられるよう、警察、消防等の連携をとっている。又、民生委員と意見交換をする機会を設けている。		本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防等と協力しながら支援していく。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 本人の希望に応じて、訪問理美容サービスを利用している。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議に、地域包括支援センターの職員が参加されており、これをきっかけに関係が強化された。周辺情報や支援に関する情報交換、協力関係を築いている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 協力医の他、利用者からのかかりつけ医での医療を受けられるよう家族と協力し、通院・介護を行ったり訪問診療に来てもらっており、複数の医療機関と関係を密に結んでいる。 (外部評価) 協力医療機関と連携して取り組まれている。又、ご本人の体調等について、ご家族と医師が話す機会も作られている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 連携医療機関の医師等、現利用者全員について、適切な指示や助言を貰っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護職員を配置しており、常に利用者の健康管理や状態変化に応じた支援を行えるようにしている。看護職員が居ない時間は、介護職員の記録をもとに確実な連携を行っている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時、本人の情報を医療機関に提供し、職員が見舞うようにして、回復状況など速やかな退院支援に結び付けている。 医師と話す機会を持ち、ホームでの対応が可能な段階でなるべく早く退院できるようにアプローチしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) ホームで対応できる最大のケアについて説明を行っている。状態の変化があるごとに、家族、医師を交えて話し合いを行い、支援につなげている。 (外部評価) 現在、事業所の看取りの指針について、ご家族に説明をされている。		管理者は、さらに、ご本人・ご家族の希望等を聞き取り、今後は事業所での看取りも対応したいと話しておられた。さらなる事業所内での勉強会の充実や体制作りが期待される。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 本人や家族の意向を踏まえ、医師・職員が連携を取り、急変した場合はすぐ対応して頂けるよう医療機関とも密に連携を図り、対応している。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 他の事業所に移られた場合、これまでの生活環境、支援の内容、注意が必要な点について情報提供し、きめ細かい連携を心がけている。		



自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p>					
<p><b>1.その人らしい暮らしの支援</b></p>					
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ミーティングの折に、職員の意識向上を図ると共に、日々の関わり方をリーダーが点検し、利用者の誇りやプライバシーを損ねない対応の徹底を図っている。</p>		
		<p>(外部評価)</p> <p>管理者は、利用者への対応や声かけ等についてアドバイスをされている。</p>			
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>職員側で決めたことを押し付ける様なことはせず、利用者に声かけをし、複数の選択肢を提案して一人ひとりの利用者が自分で決める場面を作っている。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>基本的な1日の流れはあるが、一人ひとりの体調に配慮しながら、その日、その時の本人の気持ちを尊重して、できるだけ個別性のある支援を行っている。</p>		
		<p>(外部評価)</p> <p>早起きされ、畑の様子を見に行かれたり、掃除をしてくださる方もいる。</p>			

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 着替えは、基本的に本人の意向で決めており、見守りや支援が必要な時に手伝う様にしている。理美容は、訪問してもらったり望む店に行かれたりしている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事の準備等、利用者でできることは手伝って頂き、職員と利用者が同じテーブルを囲んで楽しく食事できるよう、雰囲気作りをしている。 (外部評価) 利用者と職員は、一緒に食事をされている様子がうかがえた。職員がメニューや食事を作り、利用者に意見をうかがっている。時には、近所の回転寿司に出かけ、食事を楽しまれることもある。ウッドデッキで食事を楽しむこともある。		さらに、職員は、食事作りに関して、利用者の出来ることがまだたくさんあると考えておられる。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 本人が望む飲み物について、好みの物を支援している。タバコについては、職員が預かり、本人の希望に沿って他の利用者の迷惑にならないよう、換気の良い場所で吸って貰っている。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 時間や態度を把握し、トイレ誘導を行い、排泄を促している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			男女・曜日で分けているが、利用者のその日の希望を確認し、曜日に関係なく利用者の希望で入浴頂いている。		
			(外部評価)		
			職員は「お風呂どうぞ」と利用者にかけておられた。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			日中の活動を促し、生活リズムを整えるように努めている。 不眠傾向には、医師に指示を仰ぎ、眠剤を服用している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			一人ひとりの力を発揮してもらえよう、お願いできそうな仕事をして頂き、感謝の言葉を伝えるようにしている。 畑が楽しみの利用者には、野菜作り、草引き等について支援している。		
			(外部評価)		
			事業所では、月に1回外出する機会を設けておられる。動物園や砥部焼の絵付け等、職員がアイデアを出し、利用者に希望を聞くようにされている。畑の草取りに励んでおられる利用者もおられた。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			事務所で管理している人について、買い物等の場合、職員が支払いを行っている。 自分で持っている方は、自分で支払いされている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			本人の希望に応じて外出されている。一人で出かけられない方は、近所を散歩したり、季節を肌で感じられるように支援している。		
			(外部評価)		
			月に1回、ユニット毎に出かける機会を作っておられる。又、日常的に散歩や買い物に出かけておられる。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			ごく一部の利用者で、家族等とともに出かけているのが現状で、事業所では、利用者の希望を聞き、月1回外出・行事を行っている。 (動物園・リンゴ狩り・花見等)		事業所側から希望を出してもらおうよう働きかけをし、本人が行きたいと思う場所への思いや願いを叶えられるよう、利用者・家族と相談し、実現へ向けた取り組みをしたい。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			希望により、自宅へ電話をし、話ができるよう支援している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			ご家族も親の家を訪れるような、気軽で来やすい雰囲気作りを心がけている。訪問時間は定めておらず、いつでも訪ねて来て頂けるよう配慮をしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)  職員が拘束しないケアを理解して、拘束のないケアを実施している。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価)  日中は玄関の鍵は掛けていない。玄関のドアが開くとチャイムが鳴るようにしており、利用者の行動を把握している。 居室についても鍵を掛けないケアを行っている。  (外部評価)  玄関は鍵をかけず出入りできるようになってる。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価)  本人のプライバシーに配慮しながら、日中はフロアに居る職員が見守り、全員の状況を把握している。夜間は、時間毎の確認をし、すぐに対応できるよう安全に配慮している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価)  全てを取り除くような事は無く、利用者の状況変化によっては注意を促していくなど、ケースに応じた対応をしていく。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価)  一人ひとりの状態から予測される危険を検討し、事故を未然に防ぐ為の工夫に取り組んでいる。例えば、煙草を吸う方への喫煙場所の確保等。万一事故が発生した場合には、速やかに事故報告書を作成し、事故原因の今後の予防対策について検討し、家族への説明と報告を実施している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) マニュアルは作成しているが、全ての職員が年1回の応急手当の勉強会(実技含む)の実施ができていない。		年1回、応急手当の勉強会(実技含む)を実施していきたい。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) ○消防署の協力を得て、避難経路の確認、火災時の通報の仕方等の訓練指導を定期的に行っている。 ○消火器等、設備点検を定期的に行っている。 運営推進会議で、地域住民等の協力をお願いしている。 (外部評価) 年に2回、火災時の避難訓練を行っておられる。		地域住民等の協力を得られるよう、運営推進会議で呼びかけていきたい。  さらに、今後は地震等の災害時の訓練も行っていきたいと考えておられた。又、地域の協力者を増やしていけるような取り組みも期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 様々な役割活動や自由な外出により、リスクが高くなるものの、力の発揮や抑制感のない暮らしが、利用者の表情を明るくしている事を具体的に説明している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日バイタルチェックを行っている。少しでも食欲や顔色、様子等の変化が見られた時は、再度バイタルチェックを行い、医療受診につなげている。		



自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方箋は個別管理ケースに保管し、その日の担当職員が服薬時、利用者に手渡し、服薬確認をしサインをしている。処方変更があれば、申し送りや連絡ノートで全職員が分かるようになっている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 野菜を多く取り入れた食事や、水分摂取を促し、散歩等身体を動かすよう働きかけを行っている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食後、歯磨きや義歯の洗浄、うがいの支援を行っている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 入居者の水分摂取量、残食量を毎日把握し、個人情報にも記載している。 毎月、体重測定を行い、参考にしている。		
			(外部評価) 利用者の状態に応じてやわらかめの食事にされたり、体重が増加傾向にある方には主食を調節されている。又ペットボトルにお茶を入れて、居室においておられる方もあった。		さらに、利用者個々についての食事の栄養面についても、点検してみるような機会を作ってみてはどうだろうか。
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) インフルエンザについては利用者・職員共、予防接種を受けている。感染症マニュアルを作成し、薬用殺菌消毒ソープによる手洗いの励行を行い、ペーパータオルを使用している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>まな板や布巾などは毎日漂白し、衛生管理を行っている。食材については、畑で採れた無農薬野菜を使用し、その他食材については冷蔵庫で保管し、新鮮なうちに使い切っている。</p>		
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関の入り口には植木や花を植え、親しみやすく家庭的で、安心して入りやすい雰囲気になっている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>台所、食堂、居間は、1フロアで食事の支度が目で見え、匂い、音等体感できるようにしている。フロアの飾り付けや、花を活けたりして居心地良く過ごせるような工夫をしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>田畑に囲まれた事業所で、窓から緑が眺められる。1階には、ウッドデッキがあり、時に雰囲気を変えて食事を楽しまれている。1階の居間からは、畑が眺められる。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>リビング・ダイニングがゆったりしており、ダイニングの椅子や、ソファ等で自由に過ごせる居場所を確保している。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			使い慣れた家具の持込を自由にしており、本人や家族の希望を取り入れ、本人が居心地良く過ごせる空間となっている。		
			(外部評価)		
			利用者のご事情もあり、居室のしつらえは少なめである。		さらに、この機会に利用者の望まれる暮らしを探ってみてはどうだろうか。利用者と一緒に、穏やかに暮らせるための居室の環境作りに取り組み始めてほしい。
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			換気は適宜行っており、空気の淀みは無い。冷暖房の調節もこまめに行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			廊下・トイレ・浴室には、必要に応じて手摺りを設置し、利用者の機能補助に役立っている。玄関への出入口もスロープになっていて、安全への配慮をしている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			本人にとって「何がわかりにくいのか。」「どうしたら本人の力でやって頂けるのか。」を追求し、状況に合わせて環境整備に努めている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			畑のスペースを確保し、庭に花を植えたり、裏庭のウッドデッキで外の空気を楽しめるような環境を作っている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	外出・入浴時間・買い物・飲みたい物など、利用者の希望で動いている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	リビングにて過ごす時間を毎日つくっている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	1日の過ごし方で、起床・食事・入浴等、一人ひとりのペースで暮らされている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者への声かけを行うことで、笑顔が見られている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	行きたい所への希望のある利用者については出掛けているが、希望のない利用者は散歩にお連れするようにしている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	全利用者、各主治医による定期的な診療を受けています。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の状況や要望に応じ、食事・入浴等、柔軟な支援をしている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	ホームに良く来られる家族の方とはよく話もでき、信頼関係ができています。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③たまに 4 ほとんどない	近所の農家の人が、野菜等を時々持って来て頂く事があります。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② ② ② ②	運営推進会議を通し、協力依頼、意見を頂くことにより、事業所の理解者や応援者が少しずつ増えている。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ① ② ③ ④	「明るく良いホーム創り」を目指している事を打ち合わせ等で徹底しており、ほとんど全ての職員が生き活きと働けている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① ② ③ ④	利用者のほとんどがホームの生活にも慣れており、体況上も入所時より良くなっている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① ② ③ ④	全ての利用者が定期的に主治医の診療を受け、緊急時でも対応いただいているので、健康面でも安心できるし入所時よりも明るくなっていると思う。

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

明るく良いホーム創りを目指すため、穏やかで健やかな生活が送れるよう利用者中心の介護を行う。

利用者とのコミュニケーションをとり信頼関係を築く。  
 (“尊敬の気持ちでさせていただく”をモットーに、言葉使い・態度には充分気をつけ、笑顔で優しく接すること)

利用者ができる事は時間がかかってもやって頂く。

グループホームは居宅です。基本的には利用者が自由に生活して頂き、その見守りを行う。

散歩等、極力屋外にもお連れしてください。

スタッフ間の信頼関係を築く。  
 明るく働きやすい職場  
 風通しの良い職場  
 相手の立場になって発言・行動するように